MONTHLY

ぽけっと

8月号
2012.8.1.

葉山町子育て支援センター ぽけっと　〒240-0111　神奈川県三浦郡葉山町一色1493-1　TEL: 046-876-4152

今夏も、暑い夏になりました。暑ければ暑いほどわくわくした子どもの頃に比べ、涼しいとホッとし雨が降ると嬉しいと感じてしまうのが少し悲しい今日この頃…本当は、その**季節ごとめいっぱい満喫したい**のに。**心も体も栄養補給**して、がんばらねば！ “**ものより思い出**” という、ある**CM**の**キャッチコピー**がありました。その商品の印象より言葉だけが残り、何かあるたびに思い出します。

子どもの頃、何かを買ってもらって嬉しかった、買ってもらえなくて悲しかったという記憶も、思い出話や笑い話としていまだに親と話すこともあります。しかし**心と体に染みついている記憶**は、意外に**何気ない出来事**なのです。東京から葉山に帰省し、海で遊んだ後におばあちゃんが出してくれた**桃と葡萄の味**。いとこたちが集まってみんなでお昼寝させられたときの**畳の香りや風鈴の音**。夏休みの宿題で育てた朝顔が毎朝開くのを見る喜び、夢中になって遊び遅くなってドキドキして帰ったときの**夕暮れどきのにおいと景色**。そんなことを遠い記憶の箱から引っ張り出すたびに、くすぐったいような、せつないような･･･。**五感**が記憶していて、音や香りにふっとその**場面がよみがえる不思議な感覚**を味わうこと、ありませんか？

我が家は、旅行したり遊園地に行ったりというような特別なイベントはあまりありませんでした。しかし「もっとああして欲しかった、こうして欲しかった」という不満はありません。普通の毎日の中で起こった**ささやかなこと**が、自分の**感性や感覚を育ててくれた**と感じているし、充分に素敵な思い出です。

今は、さまざまな**イベント**や**テーマパーク**など、子どもの心を**刺激するものがたくさん**あります。また車で気楽に行けるので、**なんでも叶ってしまいます**。しかし、いつでも何でも叶えてあげなければいけないでしょうか？近くの公園にお散歩、お庭で水遊び、海で貝を拾ってママとなにか作ってみるなど、**日常にあるささやかな楽しみをみつけて積み重ねていく**ことが、お子さんの**心を豊かに**してくれます。まずは暑さに負けないように、そして(特別な)ものより(ささやかな)思い出をたいせつに、夏を満喫してください！

センター長　山浦彩子(やまうら あやこ)

8月の予定

◆♪ いいことといいこと♪

「ふれあい遊び」毎日 11:00-11:30

〈第３水曜〉 えいごで遊ぼう (松本ようこ先生)

〈第４第５木曜〉　おやこでダンス　(近ゆきこ先生)

〈第２火第３水〉 マニスのお話し会　(丸山さちこ先生)

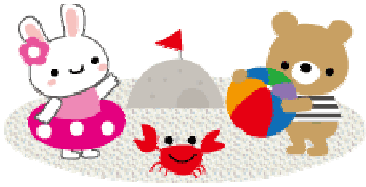
◆「0歳児つどい の広場」毎週木曜　10:00-11:00

休館日・開館時間

◆ **大 掃 除**
8/31(金)
※広場は11:00～

◆ **休 館 日**
日曜・月曜・祝日

◆ **職員会議**　8月はありません
※広場・一時預かりのご利用は9:00-13:00になります



いいこと♪いいこと♪ 広場の遊びから

森のなかで人に成る

ぽけっとでのお仕事の他に、**森のようちえん**（野外保育）を開園してい ます。子どもたちと日々森をお散歩するなかで思うことがあります。それは、**自然のなかにいる**ということは、**人に成る**ことということです。子どもが自然を好きになるために、**森のようちえん**があるわけではあり ません。少し大げさかもしれませんが、この地球の上で人として生きる上で、自然のなかに身を委ねることは、**人としての根っこになる様々な心**をしぜんに身につけていくのではないかということです。

自然のなかで過ごすことは、一言でいうと、たくさんの**生きもの**や**草花**、そしてそこで一緒に過ごす**人たち**との「**調和(ハーモニー)**」なのではないかと感じています。便利で豊かな現代の暮らしのなかでは、わかりづらくなった感覚かもし れません。森のなかは**消費され生み出されること**が、**無駄のない美しい和**のなかにあります。子どもをみていると**3歳**くらいで**自然へのかかわり方**が既に様々です。 それはそれまでに近くにいる**大人(主に親)の在り方が影響**しています。しかしながら自然のなかで過ごしているうちに、子どもは驚くほどしなやかに色々を受け入れ変化し成長してゆきます。いつの時代も子どもは変わらないのかもしれません。逆にいくら豊かな自然があったとしても、そばにいる**大人の自然観で大きく変わってしまう**ということを実感します。それは、道ばたの草花ひとつから。**小さな人(子ども)の時代**、そこにいる**大人のかんじんさ**を感じている 日々です。

◆ 石井 由樹子（いしい ゆきこ＝ユキコ先生） 事務 担当 ◆

一時預かり ぷちのお部屋から

くり返し、急がない♥

夏休みのぷちでは、まだお座りできない0歳のお子さんから、幼稚園がお休みの元気なお兄ちゃん・お姉ちゃん、初めての預かりのお子さんとさまざまなお友だちが来ています。みんな同じことはできないけれど、10:00過ぎのお散歩の時間には、黄色い帽子をかぶり木陰を探して散策したり水遊びをしたり、それぞれが興味をもったことを保育士といっしょに楽しんでいます。ぷちでお友だち同士になるお子さんもいます。もちろん、ママと離れてうつむきかげんだったり、いっぱい泣いてしまうお子さんとは、いっしょに悲しい気もちを共感します。ほんのひとときの時間ですが、みんなと笑顔でいられるよう過ごしています。

☆ **ゆっくり読んであげると笑顔になる本** ☆

ノンタンシリーズ「はみがき はーみー」&「おしっこ しーしー」

◆ 蛭子 陽奈（えびす ひな＝ヒナ先生） ぷち・ファミサポ 担当◆

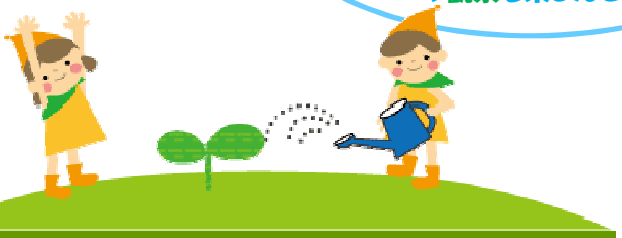
MONTHLY ぽけっと 2012.8.1.

ぽけっとの夏のお庭のお話で～す♪

遊びに来た時、ぜひお水やりや観察を楽しんでネ

ひまわりのおうち

5月末♪いいことといいこと園芸♪で親子で種まきをしました。花だんのデザインと土づくりは、園芸クラブのメンバー親子がつくってくださいました。U字型の中に入るとまるでおうちみたいになりますよ♪



今年は初夏～台風、強風…梅雨入り～大雨…涼しくなったり暑かったり・・・お庭の植物たちもたいへんでした！
でも…気がつけば梅雨も明けて、もう夏休み！！
あちらこちらから、元気なセミの声が聞こえてきました。
いよいよ夏本番！ですね。
さて…ぽけっとの夏のお庭は…　by fucci

グリーンカーテン

5～6月、ひろばの親子のみなさんや園芸クラブのメンバーで種をまいて育ててきました～夏の陽射しをやさしくしてくれるたのもしいツル性植物♪

ふうせんかずらぽけっと産の種からおおきくなりました！まんまるの実も♪

ルコウソウぽけっと産の種をまきました。はっぱのかたちが涼しげ♪

夏の花だん

センニチコウ(写真)、ルドベキア、ポーチュラカ…道路沿いの玄関前～アプローチ、ベランダ前の花だんには、いろんな夏のお花が咲いていま～す♪

いろんなハーブたち

スペアミント、ラムズイヤー、レモングラス、レモンバーベナ、ルー、よもぎ、青ジソ…お庭のあちらこちらに点在しています。親子で観察してみてくださいネ♪

えだ豆畑

園芸クラブ2期生のテーマは"豆"小学生メンバーで5月に種まき～間引き、土寄せ、芽とり…防虫ネットで無農薬栽培で育てています！

和綿(わた)

昨秋ぽけっとで採れた種をまきました！台風にも負けずマイペースで育っています。フワフワの実が待ち遠しい♪

三Rささげ

いんげん豆の仲間で長～い豆のサヤが実ります！

ふぁみさぽ ファミリー・サポート・センター

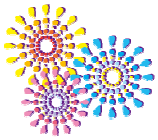
夏休みになりました。みなさまお元気ですか？7月のﾌｧﾐﾘｰ･ｻﾎﾟｰﾄ･ｾﾝﾀｰの利用件数が120件を超えました。１日平均４件の活動です。暑い中、援助活動に汗を流してくださっているまかせて会員さんの皆様のお姿に、感謝の思いで一杯になる毎日です。

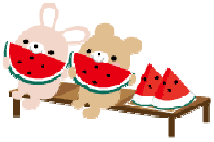
先日の交流会では、「子どもの事故と応急手当」についてＤＶＤ資料で研修した後、活動の中でヒヤリとしたこと、ハッとしたことについて話し合いました。「お預かりをしている最中は、自分のトイレにもいくのが心配で…お迎えまで我慢することもあるんですよ。自宅でのお預かりの前には、ご飯の支度をすませ危ない物を片付けます」「何かあってはいけないと、自分の子どもよりも目を離すことができなくて。無事に活動が終わるとほっとします」「お預かりするお子さんの年齢を考えて用意するのですが、階段を上ろうとしたり、その成長ぶりに驚くことがあります。久しぶりのお預かりの場合など、成長の度合いを考えて準備することが大事ですね」などなど。

そこで、ＥＭＡＲＧＥＮＣＹ　ＣＡＲＤ(緊急連絡用カード)を用意して、万が一の場合にも慌てず対応できるように準備することを説明しました。「自分の子どもがケガし、救急車を呼ぶときにはドキドキしました。このカードがあると安心ですね」とのこと。

ご参考までにご紹介しますね。

＜EMARGENCY CARD（ 家庭用 緊急連絡用カード ）＞
1. 救急車を頼む　119番(局番不要)
2. 電話がでたら
「救急車をお願いします。」
こちらは＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
住　所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
名　前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
電話番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
目 標 物＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
事故やけがの状況、病気の具合を伝える＿＿＿＿
3. 外へ出て、救急車をむかえる。
夜間は、懐中電灯をもって合図する。
ホームドクター:＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
小 児 科 医 院:＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
救 急 病 院:＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
中毒110番:029－852－9999(つくば)





アドバイザー一同

子育てをこころの発達から考える 子のこころ 親のこころ

ごほうびでほんとうにやる気になる？

先日**ぽけっと**の**2F**で「**講座: 諦めない子と母親の心理学―やる気はどこから？**」が開かれ、私も聴講させていただきました。**講師**の**神田氏**が「**ごほうび**をあげることは**やる気を失わせる**」と説明されたことについて、参加したお母さんから質問を受けました。小学生から乳児まで３人の子の母である**Yさん**は、「別の**子育て講座で教えられた方法**で、お菓子など**ごほうび**をあげていますが…ダメなんですか？」と少し意外な表情。今は**ごほうび**の力で宿題や部屋の片付けなどができている様子です。叱るよりは効果的かもしれませんが、この方法を続けて**やる気**は育つのでしょうか。「**ごほうびがほしいからやる**」という**やる気**でいいのなら…でも、お母さんは**ごほうびが無くてもできる**「**やる気**」＝その**行動のたいせつさを理解して自分はできると信じて挑戦する**「**ほんとうのやる気**」を望んでいらっしゃるはず。**自我**が成長を始めたばかりのお子さんの**純粋なこころ**には、条件つきでなくやり遂げて**真の達成感**を経験することこそが**やる気のもと**になります。**ごほうび**はその機会を失わせてしまうことに…。

遊びに出て「**帰らない**」と駄々をこねるお子さんに、「**言うことがきけないなら、もう遊びに来ないよ**」とつい言ってしまうことがありますね。この言葉が意味することは、「**素直にきけたら遊びというごほうびをあげます**」ではないでしょうか。素直に帰ると言わない我が子に苛立ってしまっただけで、「**楽しかったね。また来ようね**」というのが母の本音では？ それならそのまま「**帰るのは悲しいけれど、また遊びに来ようね**」と、「**せつない想い**」と「**楽しい想い**」は別々にしてあげましょう。楽しく遊ぶことが素直に帰ることの**ごほうび**…なんてどこか変ですね。**ごほうび**になるくらい**楽しいこと**は**100%楽しまないともったいない。無条件で与えられないともったいない。**そして、**我慢してがんばるときも無条件にやってみる**…できると**信じて見守って**あげれば、**ごほうび**が無くても必ずできます。そうやってできたときこそ「**ほんとうの自信**」になって、自分から進んで宿題をする「**やる気**」が湧いてきます。

気長にできる夏休みの宿題で、試してみてはいかがですか？

◆上野 祐子(うえの ゆうこ) 副センター長･心理相談担当◆